

# 取扱説明書

ミニディスクレコーダー

## MJ-L7

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。

本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書を本機ご使用の前に最後までお読みください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。

お読みになった後は、「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に保管してください。使用中にわからないことや不具合が生じたとき、きっとお役にたちます。

本機は単独では動作しません。CDレシーバー（XC-L7）と組み合わせてご使用ください。



高調波ガイドライン適合品

<b>安全上のご注意</b> .....	2
付属品の確認 .....	3
MD の取扱いかた .....	3
接続のしかた .....	4
各部のなまえ .....	5
MD を聞く .....	6
1 曲目から順に再生する .....	6
MD に録音する前にお読みください.....	7
<b>MD に録音する</b> .....	10 ~ 17
マニュアル録音する .....	10
シンクロ録音する (CD MD).....	11
(TAPE MD).....	12
MD 録音しているときにディスクの 各トラックに名前を入れる .....	13
録音してある途中から録音する .....	14
モノラルで長時間録音する .....	15
ひと続きの曲として録音する .....	16
デジタル機器をアナログ録音する .....	17
<b>MD の便利な機能</b> .....	18 ~ 31
繰り返し演奏する (リピート演奏).....	18
順不同で演奏する (ランダム演奏).....	19
好きな曲を予約する (プログラム演奏)...	20
表示を切換える .....	22
<b>MD 編集機能の使いかた</b> .....	23 ~ 31
編集メニューについて / 編集メニューの選択 ..	23
1 つの曲を 2 つに分ける (デバインド機能)...	24
2 つの曲を 1 つにつなぐ (コンバイン機能)..	25
曲を移動する (ムーブ機能).....	26
曲を並べかえる (プログラムムーブ機能)...	27
曲を消す (イレース機能).....	28
1 曲を消す (トラックイレース).....	28
全曲を消す (オールイレース).....	28
曲やディスクに名前をつける (ネーム機能) ..	29
曲に名前をつける (トラックネーム)...	29
ディスクに名前をつける (ディスクネーム) ..	31
故障? ちょっと調べてください .....	32
日ごろのお手入れ.....	33
仕様 .....	33
アフターサービス.....	34
さくいん .....	35

準備

基本操作

応用操作

その他

# 安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

## 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



### 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⊘記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。

図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。



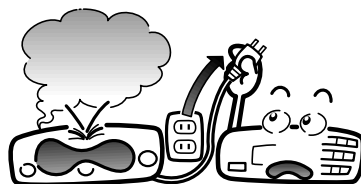
## 警告

### 〔異常時の処置〕

万一煙が出ている、変なおいや音をするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



プラグを抜け



万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜け



万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



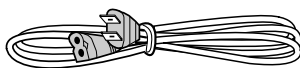
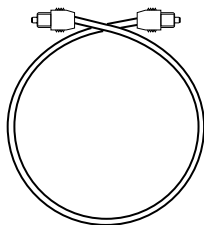
プラグを抜け



- 本機の修理および内部点検、調整はサービスステーションまたはお買い上げの販売店にご依頼ください。

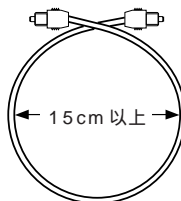
# 付属品の確認

光ファイバーケーブル × 1    電源コード × 1



取扱説明書（本書）  
ご相談窓口・修理窓口のご案内  
保証書  
安全上のご注意

光ファイバーケーブル取り扱い上の注意  
光ファイバーケーブルは急な角度に折り曲げたりしないでください。光ファイバーケーブルを破損する恐れがあります。ラックなどに入れるとき特にご注意ください。輪にして保管するときは直径が15cm以上になるようにしてください。接続するときは奥まで確実に差し込み、不完全な接続にならないようにしてください。



# MD の取扱い

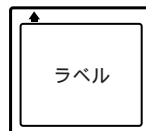
右記マークのディスクをお使いください。



## MD の種類について

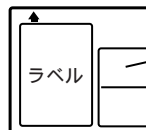
再生専用と録音・再生用があります。

- 再生専用 MD（録音はできません）  
市販の音楽ソフトはこのタイプです。CD と同じ光ディスクを使っています。



シャッターが裏面にあります。

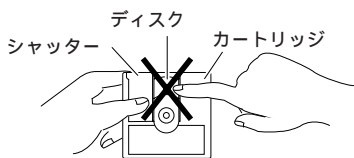
- 録音・再生用 MD  
録音もできる「生ディスク」です。光磁気ディスクを使用しているため、くり返し録音することができます。



シャッターが両面にあります。

## 注意

- ディスクに直接触れないでください。
- シャッターを無理に開けるとこわれます。
- 分解しないでください。



## 保管

- ケースに入れて保管してください。
- 次のようなところには保管しないでください。
  - 高温多湿の場所
  - 直射日光が当たる場所
  - 砂やホコリの入りやすい場所

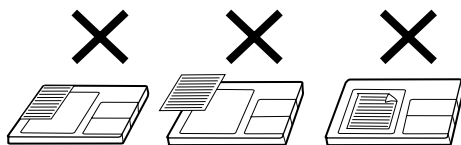
## カートリッジのお手入れ

乾いた布でホコリや汚れを軽くふき取ってください。

## ラベルの貼付けについて

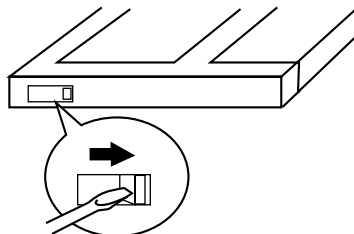
以下のことをお守りください。正しく貼られていない場合、MD が取出せなくなります。

- 指定の場所（エリア内）に貼ってください。
- 重ねて貼付けしないでください。
- ラベルが浮いたり、めくれたりしたら新しいラベルに貼りかえてください。



## 録音した MD を誤消去しないために

側面にある誤消去防止つまみを開けると録音できなくなります。



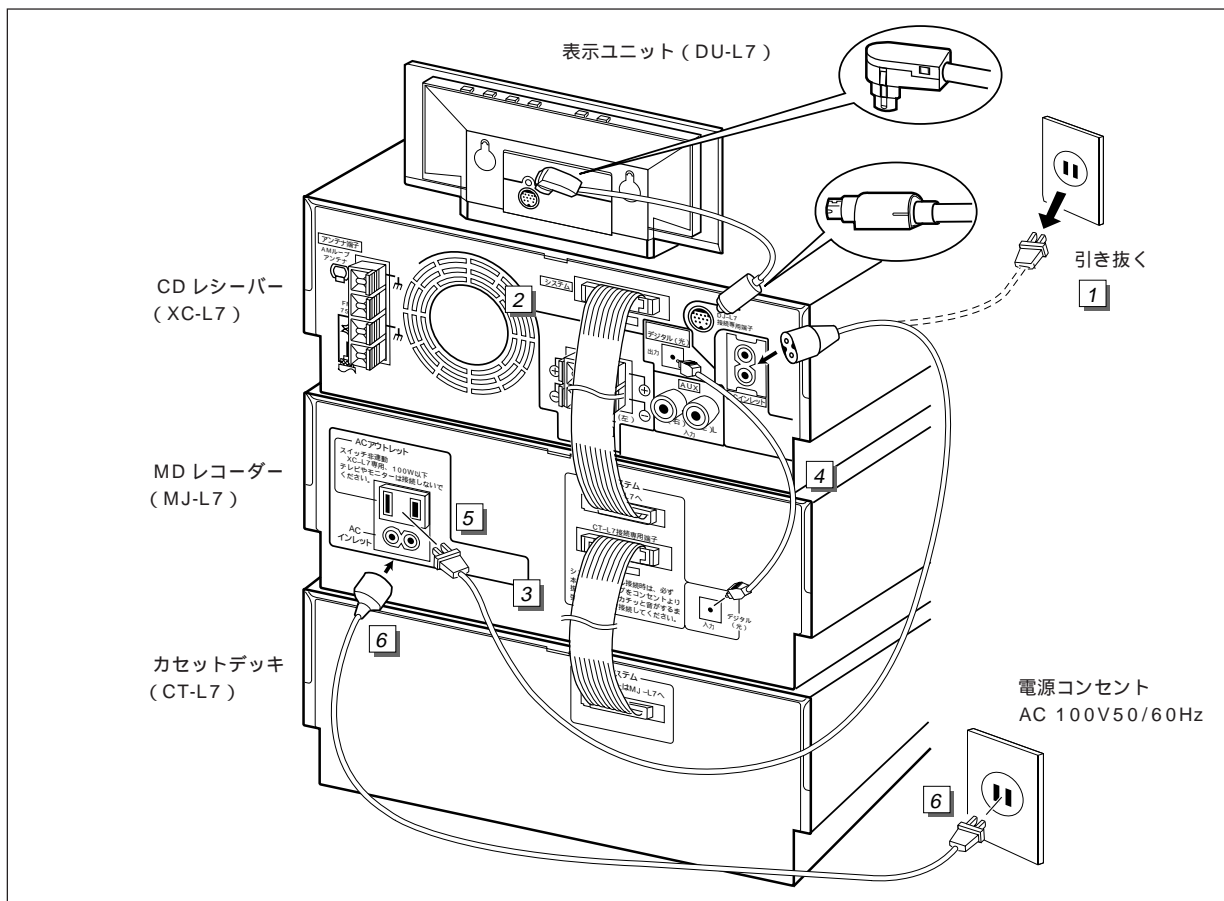
再び録音や編集をしたいときは、つまみを閉じます。



# 接続のしかた

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

本機はパイオニアのCD レシーバー XC-L7 と組合せて使用するよう設計されており、他のシステムと接続することはできません。



**1** CD レシーバーの電源コードを壁のコンセントから抜いてください。

**2** MD のシステムケーブルを CD レシーバーに接続する。

- カチッと音がするまで押し込んでください。

**3** カセットデッキのシステムケーブルを MD レコーダーに差し込む。

**4** 光ファイバーケーブルで CD レシーバーと接続する。

- 光デジタル出力端子の防塵キャップを引き抜きます。光ファイバーケーブルのプラグを端子の形に合わせ、奥までしっかり差し込みます。

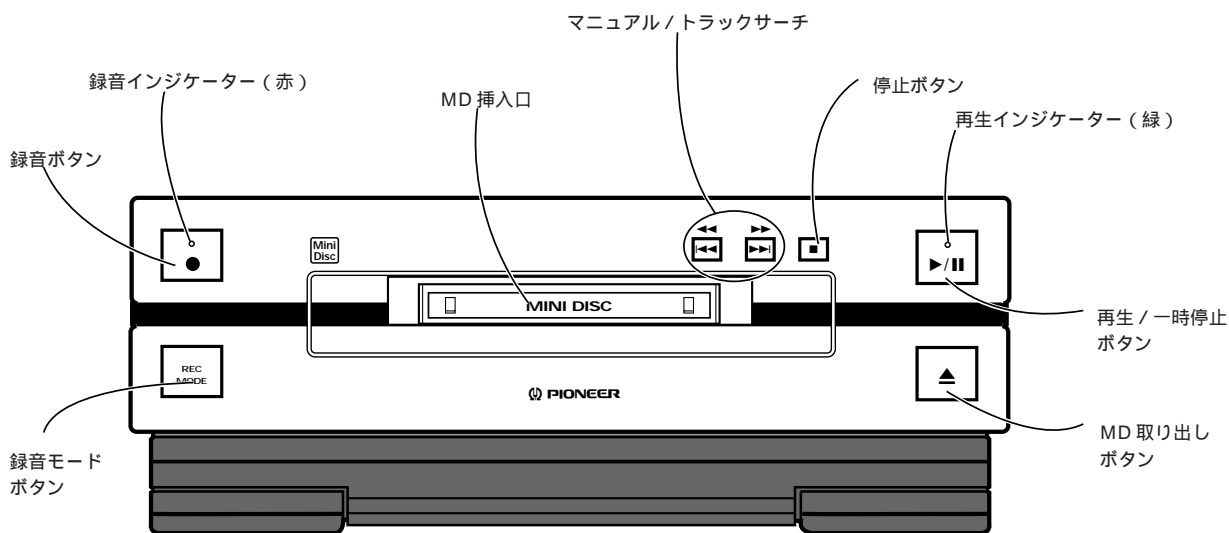
**5** CD レシーバーの電源プラグを MD レコーダーの AC アウトレットに差し込む。

**6** 付属の電源コードを最初に MD の AC インレットに差し込み、プラグ側を壁の電源コンセントに差し込む。

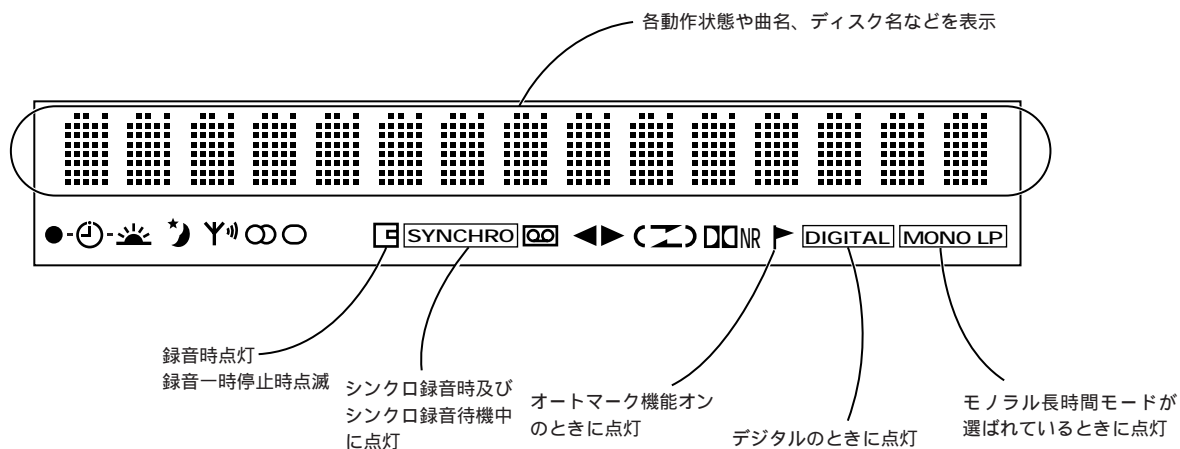
**注意!!**

本機にはリモコンは付属していません。リモコンで操作したい場合はパイオニアの XC-L7 (CD レシーバー) と組合わせて CD レシーバーのリモコンで操作してください。また、表示ユニットでも操作することができます。

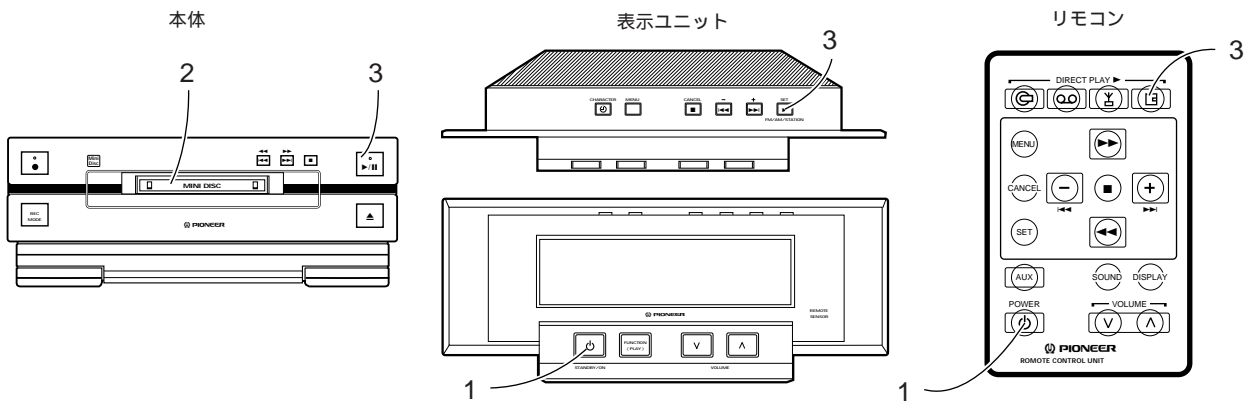
## 各部のなまえ



（本機自身は表示部を持たないため、MD レコーダー操作時の CD レシーバー付属の表示ユニットの表示を記載します。）



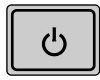
# MD を聞く



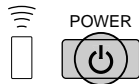
MD本体だけでは、すべての操作ができないので、このMDと組合せるCDレーザーXC-L7と接続した場合の操作をこのページ以降、記載します。

## 1 曲目から順に再生する

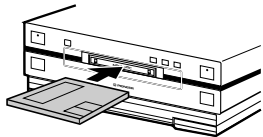
### 1 電源を入れる。



STANDBY/ON



### 2 MDを入れる。



ラベルを上にして矢印の方向から入れます。

途中から自動的に引き込まれます。

- 録音・再生用 MD では MD 側面の誤消去防止つまみが開いているときは再生をはじめます。
- 再生専用 MD では、つねに再生をはじめます。
- 再生は一曲目から行ないます。

### 3 再生をはじめます。

(2で自動的に再生を始めた場合はこの操作は不要です。)



LOVE SONG

再生専用MDまたは曲名が入力された( P.29 )録音、再生用MDの場合は、曲のタイトルがスクロール表示されます。タイトルが入っていない場合は " NO NAME " と表示されます。

- 再生する前にディスクの最初に記録されている TOC 情報を読み取りますので、その間は音が出ません。

6

### ● ダイレクトパワーオン ●

MDが入っている場合には、再生 / 一時停止ボタンを押すと電源が入って再生をはじめます。

演奏を止める	
演奏を一時停止する	
一時停止から演奏を再開する	
頭出しをする	
早送り / 早戻しをする	



- スロットインオートプレイ  
再生専用MDまたは録音・再生用MDの誤消去防止つまみが開いているMDを挿入すると、電源が入って演奏をはじめます。
- 電源が切(オフ)のときでも、MD取出しボタンを押すと電源が入って動作します。ただし、動作終了後は電源入(オン)のままになります。

# MD に録音する前にお読みください

## MD 録音とテープ録音のちがい

- MD は片面だけの録音です。
- 録音できる場所を自動的に探して録音します。
- 録音の前に録音できる時間の残りが確認できます [P.22](#)。

## TOC (Table of Contents) について

MD に録音をすると、曲番や録音場所などの情報がディスクの内部部分に記録されます。再生や編集はこれらを使って行います。

## デジタル録音について

本機のデジタル録音のサンプリング周波数は 44.1kHz です。他のサンプリング周波数の機器 (BS/CS チューナー、DVD、DAT の一部) でも 32kHz、48kHz でのサンプリング周波数であれば自動的にその周波数に切り換わり、デジタル録音することができます。なお、DVD などではデジタルコピーが禁止されている場合には、サンプリング周波数を交換してもデジタル録音はできません。また、MJ-L7 では 96kHz のサンプリング周波数は交換できません。このような場合にはアナログ録音に切り換えてください。

## 曲番号について

録音すると自動的に曲番がつけられます。追加録音するたびに順に曲番が大きくなります。

## デジタル録音時

- CD からの録音は、CD の曲番と同じところに、1 曲ごとの曲番が自動的につきます。
- 外部デジタル機器からの録音 (CD、MD、DAT など) はアナログ録音と同様にオートマーク機能が働きます。

## アナログ録音時

- 1.5 秒以上の無音部分があると、曲間とみなして自動的に次の曲番をつけます (オートマーク機能)。  
ただし、雑音があるときなど、録音の内容によって正しい位置につかないこともあります。

## オートデジタル/アナログ切換えについて

オートデジタルモードでは、録音するソースによってデジタル録音とアナログ録音が自動的に切替わります。デジタル機器をアナログで録音するときは、停止中にメニューボタンと +、- ボタン、セットボタンで切換えができます [P.17](#)。

### 注意!!

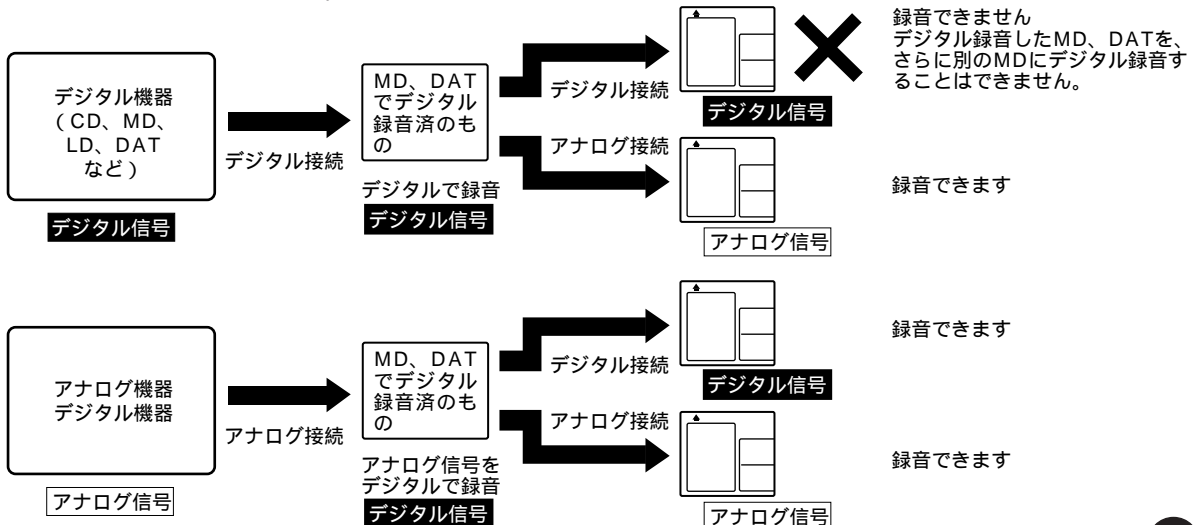
次のようなときは録音できません

- 再生専用 MD (市販の音楽ソフト) に録音しようとしたとき。
- MD の誤消去防止状態になっているとき。
- MD の録音可能時間が残っていないとき。
- “TOC FULL” が表示されたとき。
- TOC が異常なとき。

TOC の記録中 (TOC Writing 点滅中) に電源コードを抜いたり、本体に衝撃を与えないでください。TOC が正しく記録されず、正しい再生ができなくなります。

## デジタルコピーに関するご注意

デジタル入力で CD を、さらに別の MD や DAT などにデジタル録音 (コピー) することはできません。これは、SCMS (シリアルコピーマネージメントシステム) により定められているためです。



## MDに録音する前にお読みください

### 録音レベルについて

- デジタル録音、アナログ録音共に、録音レベルの調整の必要はありません。

### 録音中に停電すると

録音中または録音直後に停電があるとその時の録音内容は保持されています。再度電源が入った時にその録音内容をディスクのTOC記録エリアに記録します。ただし、その録音内容はしばらくは保持されますが、長時間経過するとその時の録音内容は全て消えてしまいます。

**注意!!**

録音終了後は必ずディスクを取り出した後(ディスクを取り出す時にTOC writeされます。)にACコンセントを抜いてください。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。  
なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

お問合わせ先：(社)私的録音補償金管理協会  
電話 03-3506-8407  
FAX 03-5353-0337

## MDのシステム上の制約

MDは従来のカセットテープやDATとは異なる方式で録音されます。そのため、録音方法や編集のしかたによって、次のような症状がでることがあります。

これらは、システム上の制約によるものですので、故障ではありません。

症状	システム上の制約
MDの最大録音時間になっていないのに“TOC FULL”が表示されることがある。	MDでは、TOCにMD上の録音場所の区切りが登録されます。何度も部分的に消去して録音したり、編集をくり返したりすると、曲数が最大(254曲)になっていなくても、TOCの情報がいっぱいになるので、録音できなくなります。 (このようなMDは、全曲イレーズ機能を行えば最初から使用できます。)
MDの最大録音時間になっていないのに“DISC FULL”が表示されることがある。	ディスクにキズなどがあると、その部分は自動的に録音できなくなるため録音時間が少なくなります。
短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがある。	録音残り時間を表示するとき、12秒以下の短い曲などは曲として数えられないことがあるためです。
MDに録音した時間と録音の残り時間の合計が最大録音時間と一致しないことがある。	通常は、1クラスタ(約2秒)を録音の最小単位としていますが、これに満たない曲でも約2秒のスペースを使います。このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。また、MDにキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。 (録音中に“DEFECT”と表示され、MDの曲番が自動的に増えます。)
編集で曲と曲をつなげないことがある。	録音・編集をくり返して行なったMDでは、コンバイン機能を使えないことがあります。 また、デジタル入力から録音した曲(CDやMDなど)と、アナログ入力から録音した曲をつなぐことはできません。
録音された曲を早戻し/早送りすると、音がとぎれることがある。	録音・編集をくり返して行なったMDでは、早戻し/早送り中に音がとぎれることがあります。



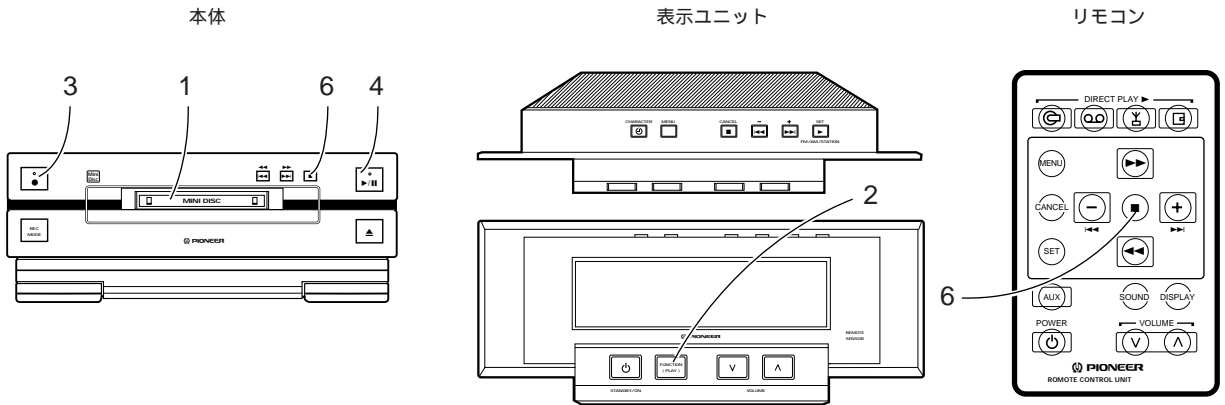
## MD に録音する前にお読みください

## こんな表示が出たときは

表示	意味	処置
NO DISC	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MDが入っていない。</li> <li>● MDのデータが読めない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MDを入れる</li> <li>● MDをもう一度入れ直す。</li> </ul>
DISC ERR	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスクにキズがついている。</li> <li>● TOCがMDに書き込まれていないが、データに異常がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MDをもう一度入れ直す。</li> <li>● 他のMDと取り換える。</li> </ul>
?DISC	<ul style="list-style-type: none"> <li>● データに異常がある。規格外のMDである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 他のMDと取り換える。</li> </ul>
DISC FULL	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MDに録音できる空がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 他の録音用MDと取り換える。</li> </ul>
BLANK DISC	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 何も記録されていない。 (音楽のディスク名も記録されていない。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 再生するときには、録音されたMDと取り換える。</li> </ul>
Playback MD	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 再生専用MDに録音や編集をしようとした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 録音用MDと取り換える。</li> </ul>
Protected	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MDが誤消去防止状態になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 誤消去防止状態をもとに戻す。</li> </ul>
TOC FULL	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 曲番や文字情報(ディスク名/曲名など)を登録する空がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 他の録音用MDと取り換える。</li> </ul>
Can't REC	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ショックやディスクのキズで正しく録音できなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 録音をやり直すか、MDを換えてみる。</li> </ul>
TEMP OVER	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 温度が高くなりすぎた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源を切ってしばらく休ませる。</li> </ul>
Can't EDIT	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 編集できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 曲の停止位置を変えて、編集し直す。</li> </ul>
NAME FULL	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスク名/曲名を登録するあきがない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスク名/曲名を短くする。</li> </ul>
DEFECT	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスクにキズがあるため、録音がとぎれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 他の録音用MDと取り換える。</li> </ul>
MECHA ERR	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MDが正しく働いていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源を切って、取出しボタンを押す。</li> </ul>
Can't COPY	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コピー禁止のものから録音しようとした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コピー可能なもの(一般のCDなど)に換える。</li> <li>● アナログ録音にする。</li> </ul>
NOT AUDIO	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オーディオ用でないデータが記録されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 他の曲を選ぶ。</li> <li>● MDを取り換える。</li> </ul>
UTOC W ERR	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ショックやディスクのキズでTOC情報が正しく作成できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源を切って、もう一度書込みを試みる。 (書込み中はショックを与えないでください。)</li> </ul>
UTOC ERR は数字や記号です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 記録されているTOC情報がMDの規格に合っていないなかったり、読めない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 他のMDと取り換える。</li> <li>● オールイレースをし、録音をやり直す。</li> </ul>
Din UNLOCK	<ul style="list-style-type: none"> <li>● デジタル入力するとき、正常な信号が入力されない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● デジタル入力端子に正しく接続されているか確認する。</li> </ul>

→「故障?ちょっと調べてください」もご覧ください [P.32](#)。

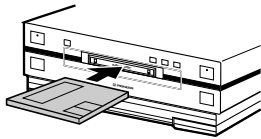
# MDに録音する



## マニュアル録音する

### 1 MDを入れる。

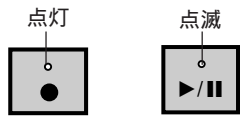
- 誤消去防止つまみが開いているMDには録音できません。



### 2 表示ユニットでファンクションを選ぶ。

チューナーを録音する場合は、放送を受信しておいてください。またファンクションでMDを選ばないでください(録音できません)。CD、テープを選んだときは、CDまたはテープの停止ボタンを押してください。

### 3 録音ボタンを押す。(停止状態にて)



録音一時停止になります。

(録音ボタン) (再生/一時停止ボタン)

### 4 再生/一時停止ボタンを押す。

点滅から点灯へ変わる。



### 5 録音したい機器の演奏を開始する

### 6 録音を止めるには・・・

停止ボタンを押す。



**注意!!**

CDレーザー(XC-L7)と組合わせている場合、録音中にはファンクションの切換はできません。(録音一時停止にすれば可能です)。

**ポイント**

- 録音中に録音ボタンを押すと、そこから曲番を1つ増やして、別の曲として録音します。
- 録音レベルは自動的に設定されます。
- MDの記録曲数は最大254曲です。ただし、録音、消去、編集をくり返すと、記録できる最大曲数が減ることがあります。この場合、全曲を消去すると元に戻ります。 [P.28]

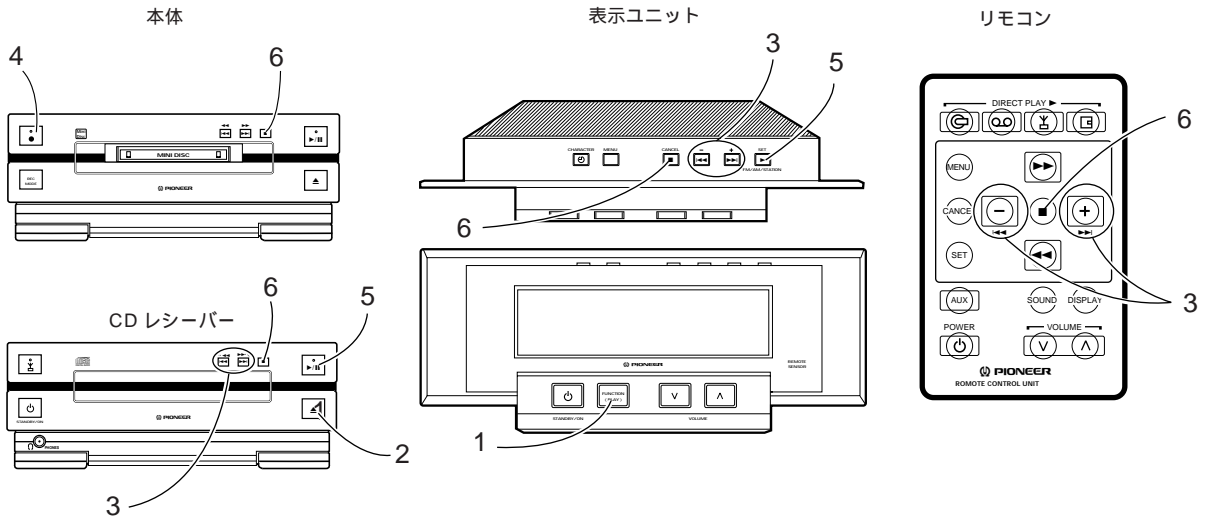
## 外部デジタル機器をデジタル録音するには

- ① MDのデジタル(光)入力端子と外部デジタル機器のデジタル(光)出力端子を光ファイバーケーブルで接続する。
- ② マニュアル録音の手順で録音を行ないます。ただし、ファンクションはAUX (digital) を選びます。

**注意!!**

このままではCDレーザー(XC-L7)と組合わせた時CDをデジタル録音できなくなりますので、録音終了時は光ファイバーケーブルでMDレコーダーとCDレーザーを接続してください。

# MD に録音する



基本操作

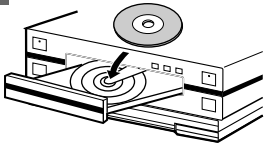
## シンクロ録音する (CD MD)

- デジタル録音、アナログ録音するとき、音楽等を再生すると自動的に MD の録音を開始します。

### 1 表示ユニットでファンクション CD を選ぶ。

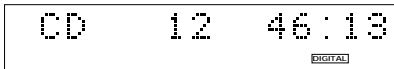


### 2 CD を装着する。



CD レシーバーの開/閉ボタンを押してトレイを出し CD をセットします。

開/閉ボタンを押してトレイを閉じます。



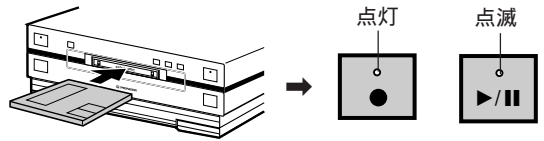
### 3 CD レシーバーで録音する曲を選ぶ。



ここで曲を選択すると「一曲シンクロ録音」になります。全曲録音する場合は、曲の選択をしないで、CD 停止中に総曲数表示になっていることを確認してください。

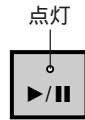
- 総曲数表示でないときは、CD の停止ボタン ( ) を押します。

### 4 MD を入れ録音ボタンを押す。



- TOC Reading が表示された場合は録音ボタンを再度押してください。

### 5 CD の演奏を開始する。



- CD レシーバーの再生/一時停止ボタンを押す。
- CD が再生すると同時に MD も録音状態になります。
- CD の再生が終了すると MD も停止します。

### 6 録音を止めるには・・・

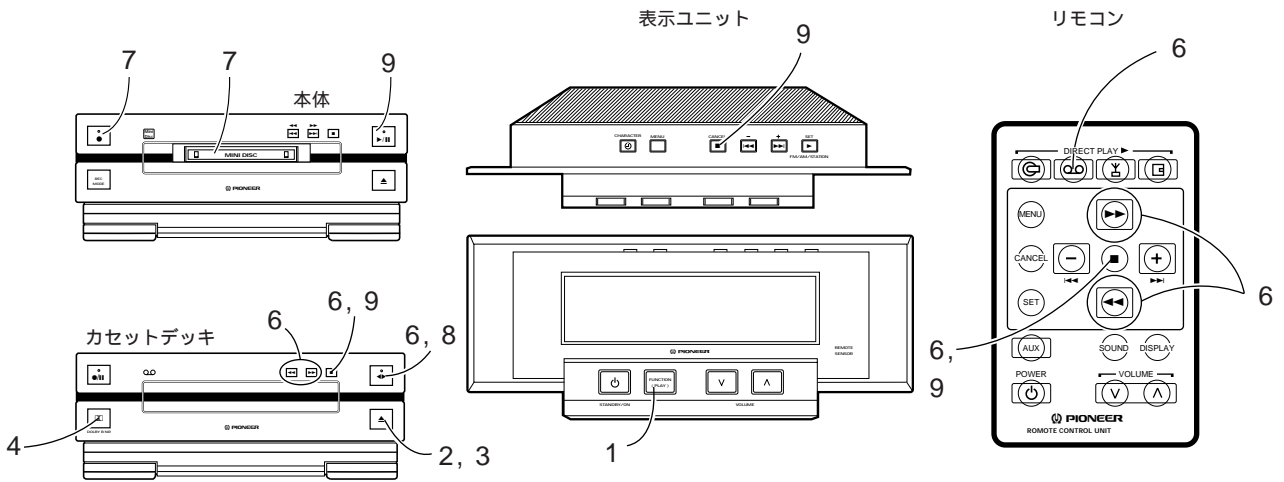
CD レシーバーか MD レコーダーの停止ボタンを押す。



**ポイント**

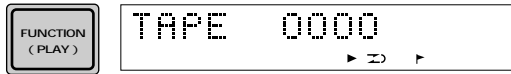
- CD が MD の録音時間より長いときは、MD が停止すると CD も停止します。
- CD がプログラムされているとプログラム再生、リピートオンならば、リピート再生をシンクロ録音します。CD プログラム、リピートについては CD レシーバー (XC-L7) で詳しく説明してあります。

# MD に録音する



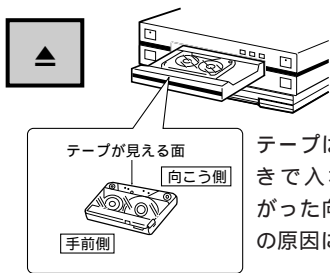
## シンクロ録音する(TAPE MD)

### 1 表示ユニットでファンクションTAP Eを選ぶ。



### 2 テープを入れる。

カセットデッキの開 / 閉ボタンを押してトレイを出しテープをセットします。



テープは必ず図に示した向きで入れてください。ちがった向きで入れると故障の原因になります。

### 3 カセットトレイを閉じる。



カセットデッキの開 / 閉ボタンを押す。

### 4 カセットデッキでドルビー NR を選ぶ。



● 押すたびに切り換ります。

### 5 リバースモードを選ぶ。

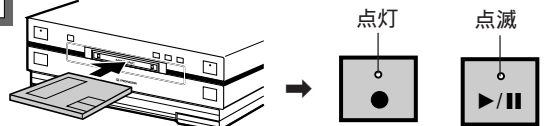
- ① リモコンまたは表示ユニットのメニューボタンを押す。
  - ② +、- ボタンで「リバースモード」を選ぶ。
  - ③ セットボタンを押す。
  - ④ +、- ボタンで以下の3つの内からモードを選ぶ。
  - ⑤ セットボタンを押す。
    - ⌂ : 片面再生が終わると停止します。
    - ⌂ : ◀方向の再生が終わると停止します。
    - ⌂ : 最大16面まで繰返し再生します。
- 失敗した場合はキャンセルボタンを押し再びやり直してください。CD レシーバー XC-L7 のテープを聞く [P.20] に詳細を記してあります。

### 6 カセットデッキでMS 選曲し、録音する曲を選ぶ

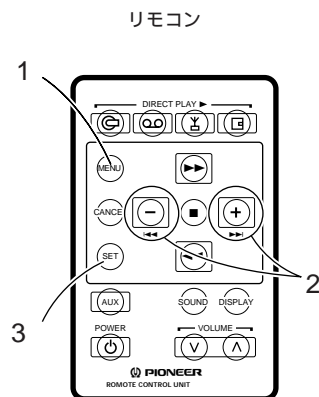
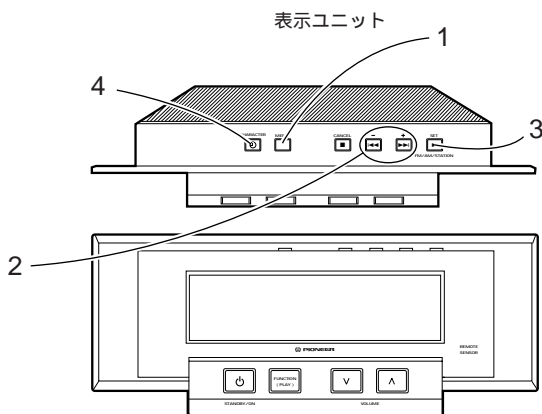


- ① 再生ボタンを押す。
- ② 早送り / 巻戻しボタンでMS 選曲する。  
(CD レシーバー XC-L7 [P.20] に詳細を記してあります)
- ③ 選曲後停止する。
  - 選択した曲から続けて録音されます。  
CD のように「一曲シンクロ録音」はできません。
  - 全曲録音する場合は、A 面の最初まで巻き戻してから1曲目を選曲します。

### 7 MD を入れ録音ボタンを押す。



## MD に録音する



## 8 テープの演奏を開始する。

再生ボタンを押す。

点灯



- テープが再生すると同時に MD も録音状態になります。
- テープの再生が終了すると MD も停止します。
- テープ再生が MD の録音時間より長いときは MD が停止するとテープも停止します。
- シンクロ録音中は、再生ボタンでは A 面(おもて) B 面(うら)を切り換えることはできません。

## 9 録音を止めるには・・・

カセットデッキが MD レシーバーの停止ボタンを押す。



- アナログ録音時(カセットデッキ、AUX)にはオートマーク機能も働きます [P.16]。
- オートマーク機能とはアナログ信号を録音するとき、1.5 秒間の無録音部分を曲間として作って曲番をつける機能です。

## MD に録音しているときにディスクの各トラックに名前を入れる

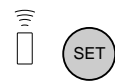
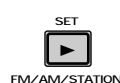
- 表示ユニットまたはリモコンで操作します。MD 録音中にメニューボタンを押す。



- +、- ボタンで「TRACK NAME」を選ぶ。



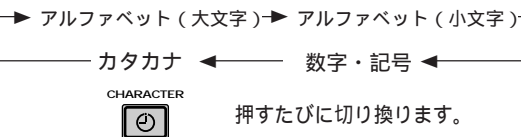
- セットボタンを押す。



- 文字入力モードになります。

- 入力する文字の種類を選ぶ。

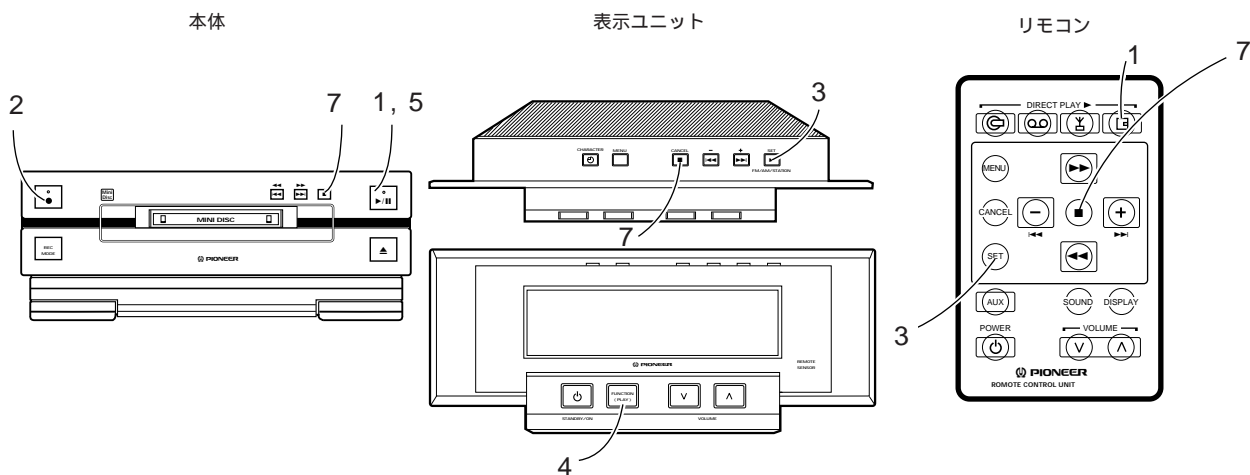
表示ユニットのキャラクターボタンを押す。



- 文字を入力する。

- 文字の入力方法については [P.29] のトラックネームのページに詳細を載せますので、そちらをご覧ください。

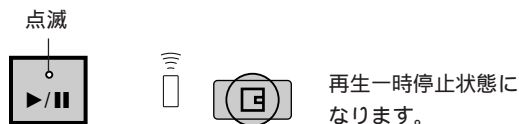
## MD に録音する



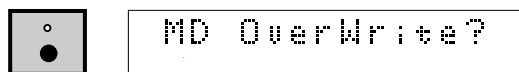
## 録音してある途中から録音する

新たに録音をはじめた位置以降の曲はすべて消えてしまいますのでご注意ください。

## 1 MD 再生中録音したい位置で再生 / 一時停止ボタンを押す。



## 2 録音ボタンを押す。



録音を取り消すときは、停止ボタンまたはキャンセルボタンを押します。

## 3 セットボタンを押す。

(表示ユニットまたはリモコンで行ないます)



**注意!!**

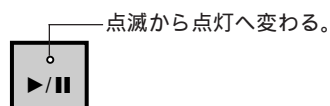
セットボタンを押した時点で、その位置以降の曲はすべて消去されてしまいます。

## 4 表示ユニットでファンクションを選ぶ。



チューナーを録音する場合は放送を受信しておいてください。またファンクションでMDを選ばないでください。(録音できません)

## 5 再生 / 一時停止ボタンを押す。

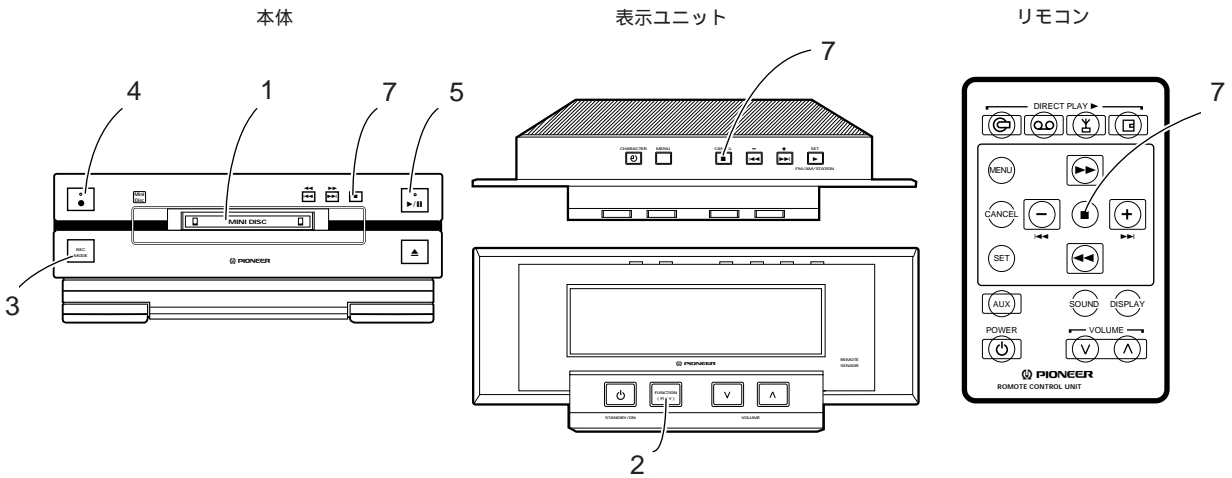


## 6 録音したい機器の演奏を開始する。

## 7 録音を止めるには・・・



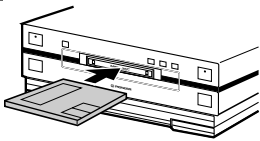
## MD に録音する



### モノラルで長時間録音する

- モノラル長時間モードで録音すると、ステレオモードの約2倍の時間の録音ができます。モノラル演奏の曲やトーク中心の番組などの録音に便利です。
- デジタル録音、アナログ録音のどちらでもできます。

#### 1 MDを入れる。



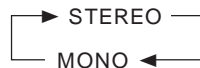
- 誤消去防止つまみが開いているMDには録音できません。

#### 2 表示ユニットでファンクションを選ぶ。

チューナーを録音する場合は、放送を受信しておいてください。またファンクションでMDを選ばないでください。(録音できません)。CD、テープを選んだときは、CDまたはテープの停止ボタンを押してください。

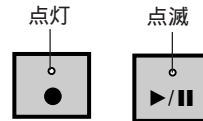
#### 3 モノラルに切り換える。

録音モードボタンを押すたびに切り換わる。



モノラルで点灯

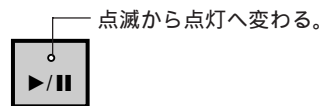
#### 4 録音ボタンを押す。(停止状態にて)



録音一時停止になります。

(録音ボタン) (再生/一時停止ボタン)

#### 5 再生/一時停止ボタンを押す。



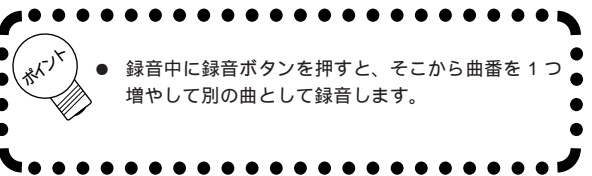
#### 6 録音したい機器の演奏を開始する。

#### 7 録音を止めるには・・・



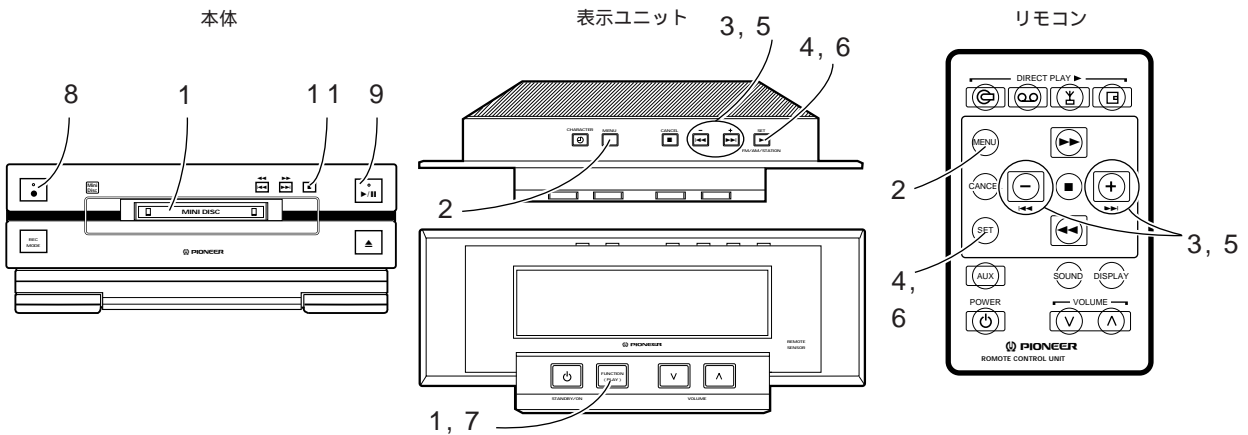
**注意!!**

録音モードは、次に変更するまで変わりません。モノラル長時間モードで録音した後はステレオモードに戻しておくことをおすすめします。



- 録音中に録音ボタンを押すと、そこから曲番を1つ増やして別の曲として録音します。

## MD に録音する



### ひと続きの曲として録音する

- オートマーク機能 [R17] を使わずに、1回の録音を1つの曲番でひと続きの曲として録音することができます。  
アナログ録音時のみ行なえます。
- 初期状態はオートマーク「オン」になっています。  
ただしCDファンクションのときはオートマーク「オフ」となります。  
またCDファンクションのときでもインプットセレクター [R17] でアナログを選択したときは「オン」になります。
- チューナーファンクションの時は「オン」にはなりません。

- ① MD を入れる。  
② ファンクションを MD にする。

- メニューボタンを押す。  
(リモコンまたは表示ユニットで行なう)



- +、- ボタンで「AUTO MARK」を選ぶ。  
(リモコンまたは表示ユニットで行なう)



- セットボタンを押す。  
(リモコンまたは表示ユニットで行なう)



- +、- ボタンで「OFF」を選ぶ。  
(リモコンまたは表示ユニットで行なう)



- セットボタンを押す。(リモコンまたは表示ユニットで行なう)  
▶マークが消えます。

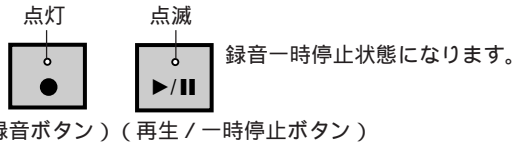


- 表示ユニットでファンクションを選ぶ。

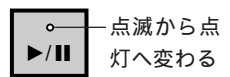


チューナーを録音する場合は放送を受信してください。  
また、ファンクションでMDを選ばないでください。  
CD、テープを選んだときは、CDまたはテープの停止ボタンを押してください。

- 録音ボタンを押す。(停止状態にて)

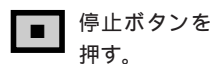


- 再生/一時停止ボタンを押す。  
点滅から点灯へ変わる



- 録音したい機器の演奏を開始する。

- 録音を止めるには・・・  
停止ボタンを押す。



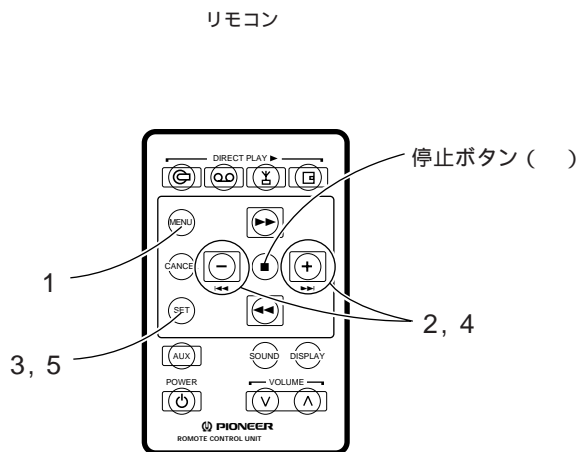
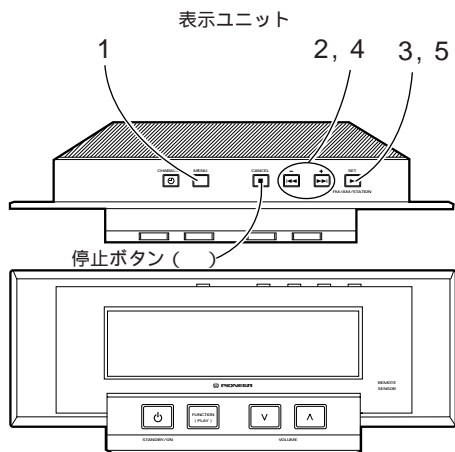
**注意!!**

- オートマークの切替は停止中のみしかできません。
- オートマーク機能のオン、オフは次に変更するまで変わりません。  
オートマークをオフにして録音した後はオートマークをオンに戻しておくことをおすすめします。  
手順 [5] で「ON」を選びます。





# MDの便利な機能



## 繰返し演奏する (リピート演奏)

別売のXC-L7と組合わせ使用時に、XC-L7に付属のリモコンと表示ユニットDU-L7で操作できます。

1曲だけの繰返しと、全曲の繰返しができます。

**1** ファンクションがMDのときにメニューボタンを押す。



**2** +、- ボタンで「REPEAT MODE」を選ぶ。



MD REPEAT MODE

**3** セットボタンを押す。



**4** +、- ボタンで「1曲リピート」、「全曲リピート」のいずれかを選ぶ。



MD REPEAT TR. ?

MD REPEAT ALL ?

MD REPEAT OFF



上の順で切り換わります。

**5** セットボタンを押す。



FM/AM/STATION

1曲リピート時

RPT1 04 03:21

全曲リピート時

RPT 08 05:43

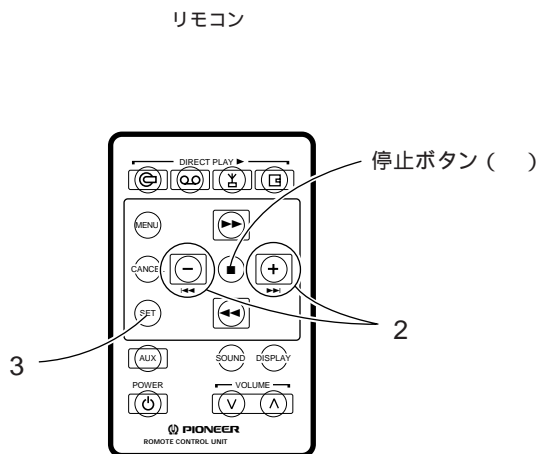
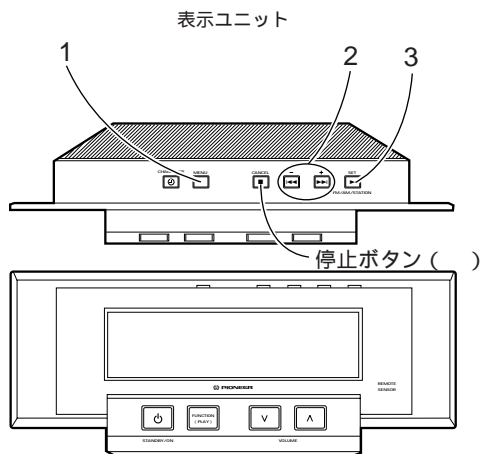
## 繰返し演奏をやめるには・・・

- 手順4で「オフ」を選ぶ。
- 演奏を停止する ( )



- 1曲リピート中にトラックサーチ (◀◀, ▶▶) で別の曲に移ったときは、移った先の曲を繰返します。
- 1曲リピート中にマニュアルサーチ (◀◀, ▶▶) を行なうと、演奏している曲を繰返します。

## MDの便利な機能



### 順不同で演奏する (ランダム演奏)

別売のXC-L7と組合わせ使用時に、XC-L7に付属のリモコンと表示ユニットDU-L7で操作できます。  
曲を無作為に選んで1回ずつ演奏します。

**1** ファンクションがMDのときにメニューボタンを押す。



**2** +、- ボタンで「RANDOM PLAY」を選ぶ。



**3** セットボタンを押す。



### ランダム演奏をやめるには・・・

- 演奏を停止する ( )

ランダム演奏中に全曲リピート (P18) を選ぶとランダム演奏を繰り返します。(ランダムリピート)  
表示は次のようになります。

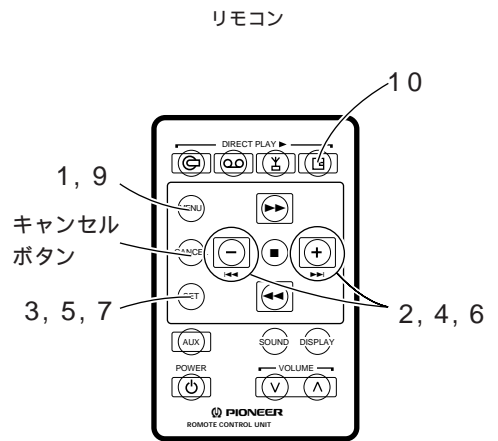
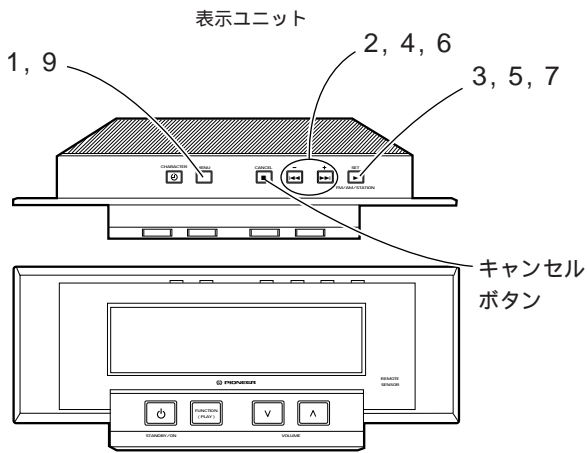


**ポイント**

- ランダム演奏中に [ ] [ ] [ ] [ ] を押すと演奏中の曲を中止し、別の曲を選んで演奏します。

応用操作

## MD の便利な機能



### 好きな曲を予約する(プログラム演奏)

別売のXC-L7と組合わせ使用時に、XC-L7に付属のリモコンと表示ユニットDU-L7で操作できます。

24ステップまでプログラムできます。

例) 7曲目、12曲目の順にプログラムする。

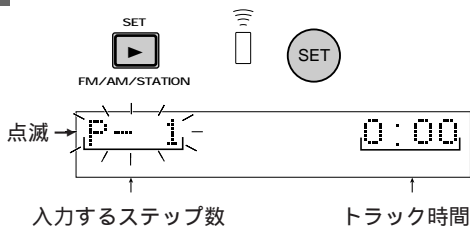
#### 1 MD 停止中にメニューボタンを押す。



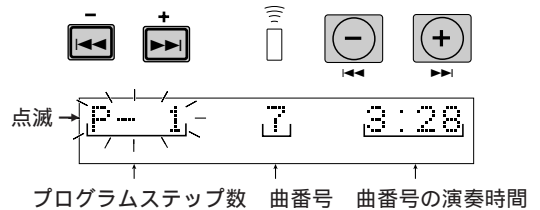
#### 2 +、- ボタンで「PROGRAM」を選ぶ。



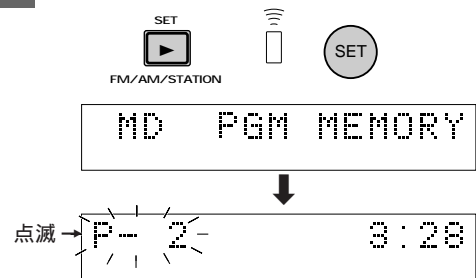
#### 3 セットボタンを押す。



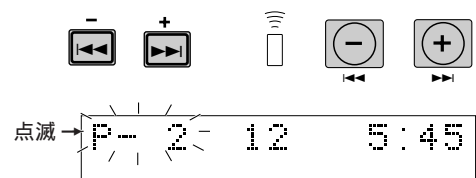
#### 4 +、- ボタンでプログラムしたい曲番(7曲目)を指定する。



#### 5 セットボタンを押す。

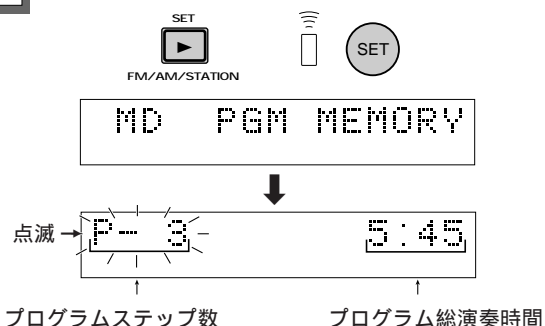


#### 6 +、- ボタンでプログラムしたい曲番(12曲目)を指定する。



## MDの便利な機能

### 7 セットボタン押す



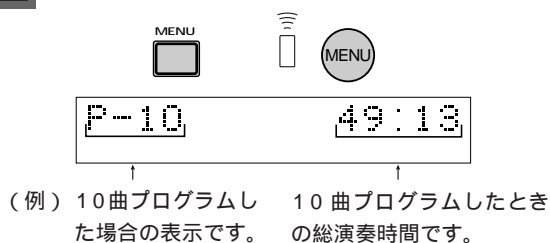
### 8 これ以上に曲をプログラムするときは手順6, 7を繰り返します。

- プログラムが24曲を越えたときは「PGM FULL」を表示します。

MD PGM FULL

曲番をまちがえたときには・・・  
キャンセルボタンを押します。押すごとに最後にプログラムした曲から消えていきます。

### 9 メニューボタンを押す。



プログラムを取り消すには

- 演奏中：停止ボタンを2回押す。
- 停止中（停止中で合計表示中）：停止ボタンを1回押す。

プログラム内容を確認するには

- 停止中に+、-ボタンを押すと順次にプログラム内容が表示されます。

(例) P- 5 3 3:28

↑ ↑ ↑

プログラムステップ番号      曲番      3曲目の演奏時間

- 停止ボタンを押すと合計表示に戻ります。

(例) P-10 49:13

↑ ↑

プログラム合計曲数      プログラム総演奏時間

プログラム演奏中にリピート演奏にすると次のような表示になります。

1曲リピート時

P. R1 07 06:54

全曲リピート時

P. R 12 03:21

### 10 再生/一時停止ボタンを押す。



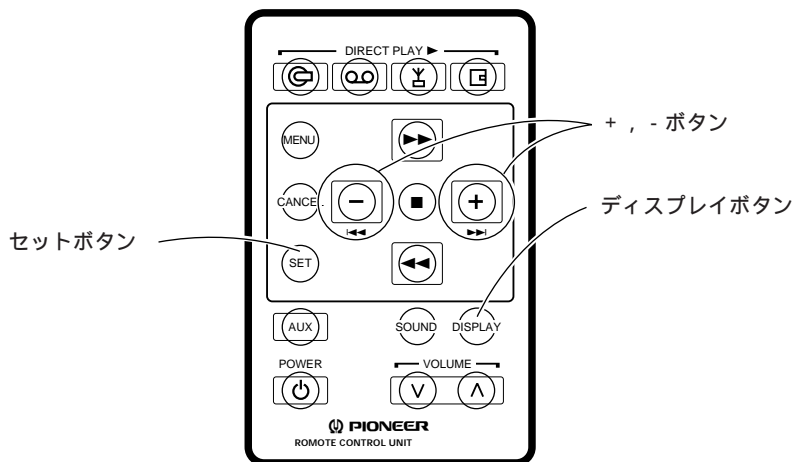
- プログラムした順に演奏をはじめます。

**注意!!**

- ポーズをプログラムすることはできません。
- ディスクを取り出したり、電源をオフした場合はプログラムが取り消されます。

# MD の便利な機能

リモコン



## 表示を切換える

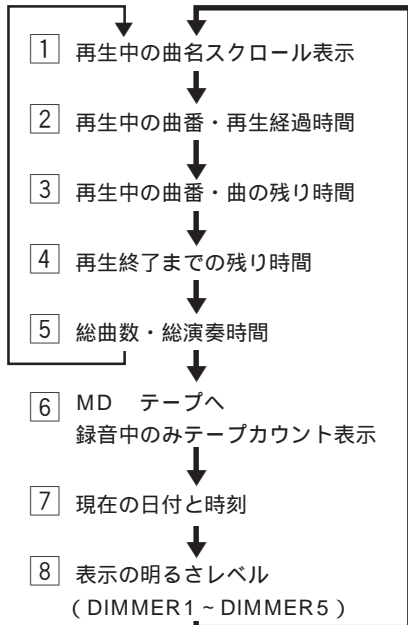
- リモコンのディスプレイボタンで切換えられます。

### ディスプレイボタンを押す。

再生中の表示

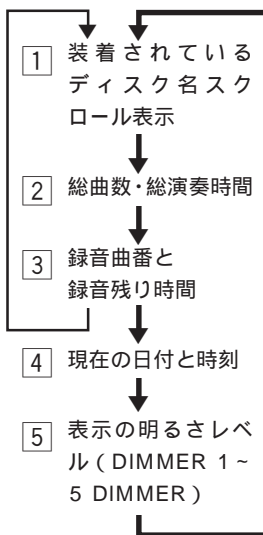
押すたびに次のように切り換わります。

この時点でディスプレイボタンを押さなければ自動的に①へ戻ります。

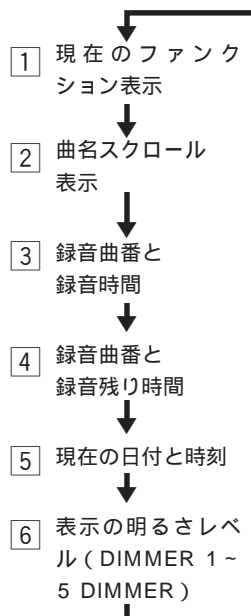


停止中の表示

この時点でディスプレイボタンを押さなければ自動的に①へ戻ります。



録音中の表示



### 表示の明るさレベルを変えるには

- 1 ディスプレイボタンで「DIMMER」(表示の明るさレベル)を選ぶ。
- 2 セットボタンを押す。
- 3 + / - ボタンで「DIMMER 1 ~ 5」の内のいずれかを選ぶ。
- 4 セットボタンを押す。

- ディスク名や曲名が付いていないと、「NO NAME」と表示し次の②へ移ります。

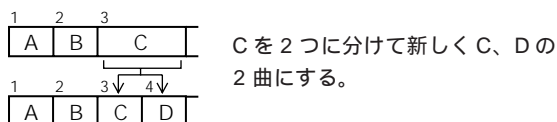
# MD 編集機能の使いかた

## 編集メニューについて

曲順を変えたり、1曲を2曲に分けるなどの編集をして、自分だけのディスクづくりができます。次のような編集機能があります。

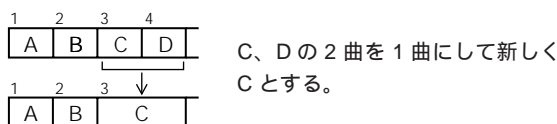
- ① ディスクや曲に名前を付ける（ネーム）  
アルファベット（A～Z、a～z）数字、記号、カタカナで名前を付けることができます。

- ② 1つの曲を2つの曲に分ける（デバイド）



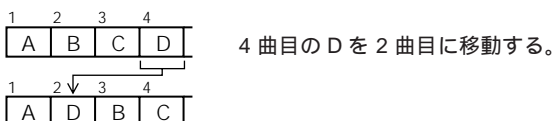
分けた曲以降の曲番は自動的に付け変えます。

- ③ 連続している2つの曲をつないで1つの曲にする（コンバイン）



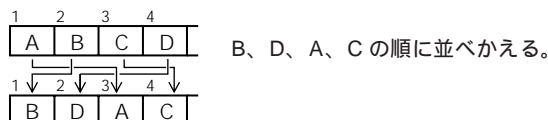
つないだ曲以降の曲番は、自動的に付け変えます。

- ④ 曲を移動する（ムーブ）



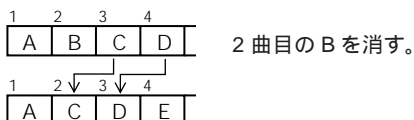
並べかえた後の曲番は自動的に付け変えます。

- ⑤ 曲を並べかえる（プログラムムーブ）



プログラム演奏で指定した順に曲を並べかえます。並べかえた後の曲番は自動的に付け変えられます。

- ⑥ 1曲または全曲を消してしまう（イレース）



消した曲は曲名ごと消えます。

全曲を消したときはディスク名も消えます。

消した曲以降の曲番は自動的に付け変えます。

CDやテープからの録音や放送を録音した曲の入ったディスクがあるときに、以下の手順で、自分だけのオリジナルディスクが作れます。

1. デバイド、コンバイン機能で曲を整理する。
2. イレース機能でいらぬ曲、トーク、CMを消す。
3. ムーブ機能で曲を並びかえる。または、プログラムムーブ機能で、プログラムした順に曲を並べかえる。
4. ネーム機能で曲名、ディスク名を付ける。

**注意!!**

誤消去防止つまみが開いたディスク（**P3**）では、編集メニューは使えません。編集メニューを使用する場合は誤消去防止つまみを閉じてください。

## 編集メニューの選択

MDレコーダーの状態（動作モード）によって、編集メニューのうち、どのメニューが選択できるかは下表を参照してください。

印の編集メニューが選べます。

ディスクタイトルのネーム機能は停止中のみ選べます。

	ディスクネーム	トラックネーム	デバイド	コンバイン	ムーブ	プログラムムーブ	イレース
ディスク名表示か 総曲数表示で停止中		×	×	×	×	×	
録音中 / 録音待機中	×		×	×	×	×	×
曲番表示で停止中	×		×			×	
再生中	×		×	×	×	×	×
再生一時停止中	×					×	
プログラム時	×	×	×	×	×		×

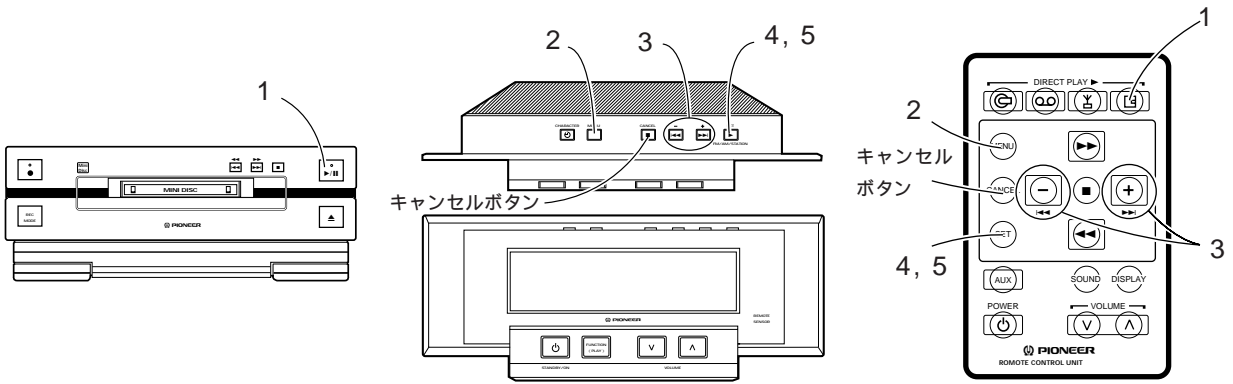
曲番表示の時はMDの停止ボタンを押すと総曲数表示になります。

# MD 編集機能の使いかた

本体

表示ユニット

リモコン



## 1つの曲を2つに分ける (デバインド機能)

(例) 3曲目を2つに分ける場合

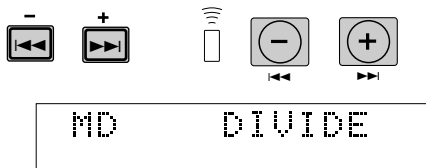
**1** 3曲目を再生し、分けたいところで再生/一時停止ボタンを押す。



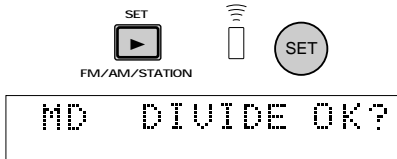
**2** メニューボタンを押す。



**3** +、- ボタンで「DIVIDE」を選ぶ。



**4** セットボタンを押す。



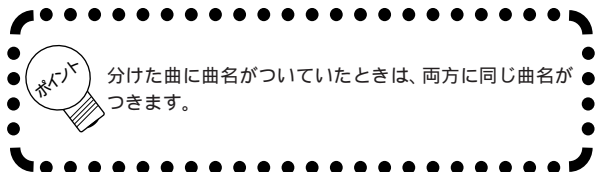
分けてよいかを確認する表示になります。

**5** セットボタンを押す。



「MD COMPLETE」の表示が出て曲が分けられます。

デバインドを中止するには  
キャンセルボタンを押す。



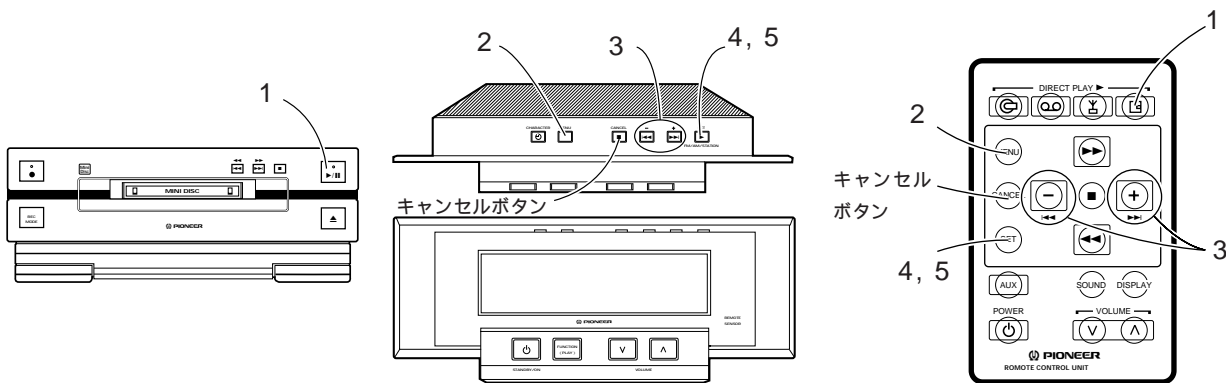


# MD 編集機能の使いかた

本体

表示ユニット

リモコン



## 2つの曲を1つにつなぐ(コンバイン機能)

選ばれている曲と、その直前の曲をつなぎます。

(例) 4曲目と5曲目をつなぐ場合

### 1 5曲目を再生中に再生/一時停止ボタンを押す。

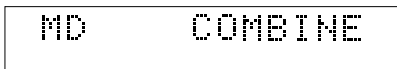
- 停止中に◀▶▶▶ボタンを押して曲番5の表示にしてから操作することもできます。



### 2 メニューボタンを押す。



### 3 +、- ボタンで「COMBINE」を選ぶ。



### 4 セットボタンを押す。



つないでよいかを確認する表示になります。

### 5 セットボタンを押す。



- 「MD COMPLETE」の表示が出て、4曲目と5曲目がひとつになり新4曲目になります。

コンバインを中止するには  
キャンセルボタンを押す。



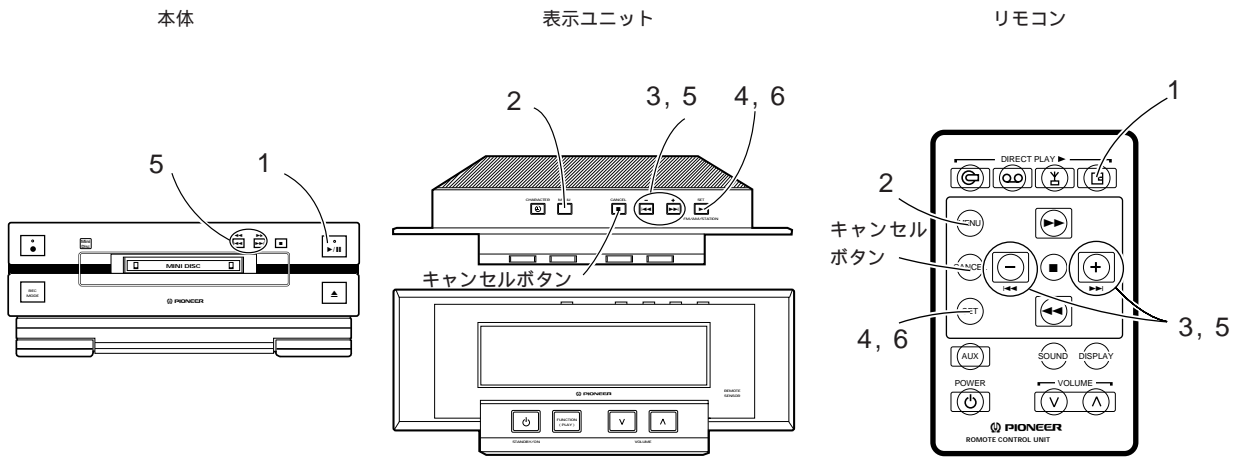
#### 注意!!

- デジタル録音した曲と、アナログ録音した曲はつなげません。
- ステレオモードで録音した曲と、モノラル長時間録音した曲はつなげません。
- 15秒以下の短い曲はつながらないことがあります。

#### ポイント

- つないだ曲に曲名がついているときは、前の曲(例では4曲目)の曲名がつきます。前の曲名がついていないときは後の曲名がつきます。
- 離れた曲をつなぎたいときは、ムーブ機能 [P.26] で曲を連続させてからコンバイン機能でつないでください。

# MD 編集機能の使い方



## 曲を移動する (ムーブ機能)

(例) 8 曲目と 5 曲目を移動する場合

**1** 8 曲目を再生中に再生 / 一時停止ボタンを押す。

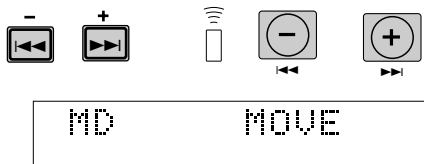
- 停止中に ◀▶ ボタンを押して曲番 8 の表示にしてから操作することもできます。



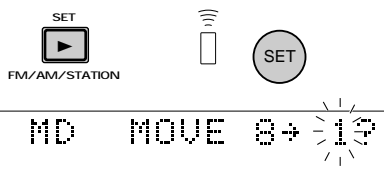
**2** メニューボタンを押す。



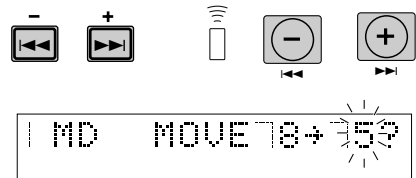
**3** +、- ボタンで「MOVE」を選ぶ。



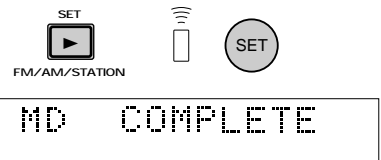
**4** セットボタンを押す。



**5** +、- ボタンで移動先を「5」にする。



**6** セットボタンを押す。

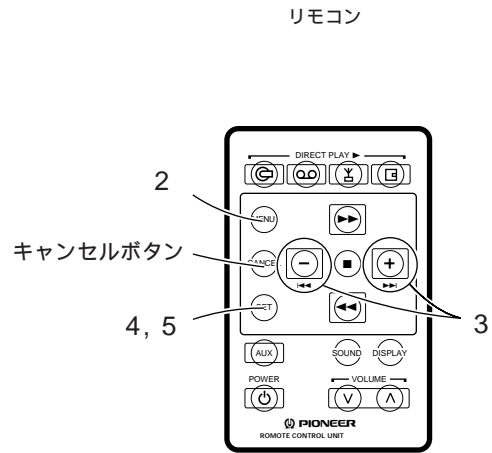
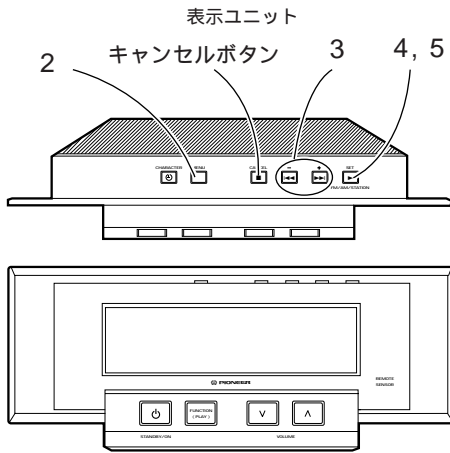


- 「MD COMPLETE」の表示が出て、8 曲目を 5 曲目に移動しました。

ムーブを中止するには  
キャンセルボタンを押す。



## MD 編集機能の使いかた



### 曲を並びかえる(プログラムムーブ機能)

- プログラム選曲で指定した曲順に曲を並び換えます。

#### 1 並びかえたい順にプログラムする。

- プログラムのしかたは **P.20**、**P.21** をご覧ください。

#### 2 メニューボタンを押す。



#### 3 +、- ボタンで「PGM MOVE」を選ぶ。



#### 4 セットボタンを押す。



#### 5 セットボタンを押す。



- 「MD COMPLETE」の表示が出てプログラムした順に並び換えます。

プログラムを中止するには  
キャンセルボタンを押す。



**ポイント**

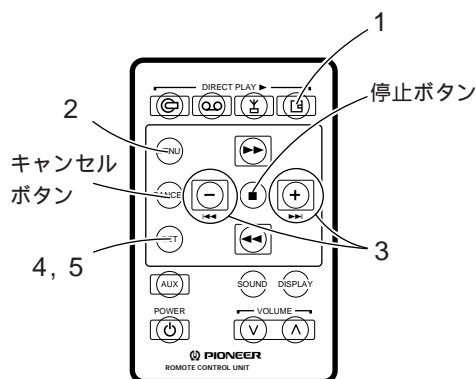
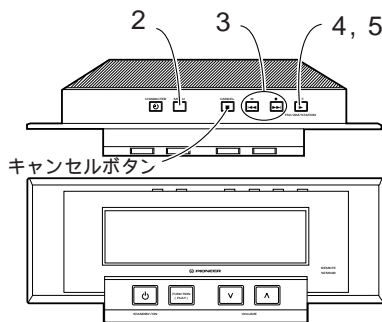
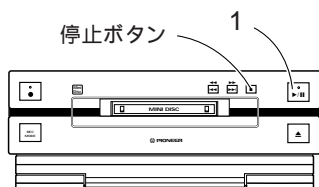
- プログラムしなかった曲はプログラムムーブで並び換えた曲のうしろに並びます。
- 同じ曲を2回以上プログラムしているときはうしろにプログラムされた内容が優先されます。

## MD 編集機能の使い方

本体

表示ユニット

リモコン



## 曲を消す (イレース機能)

1 曲を消す (トラックイレース)  
(例) 6 曲目を消したい場合

## 1 6 曲目を再生中に再生 / 一時停止ボタンを押す。

停止中に ◀◀、▶▶ ボタンを押して曲番 6 の表示にしてから操作することもできます。



## 2 メニューボタンを押す。

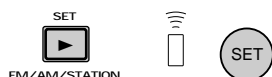


## 3 +、- ボタンで「ERASE」を選ぶ。



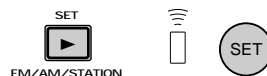
MD ERASE

## 4 セットボタンを押す。



MD ERASE 6 ?

## 5 セットボタンを押す



MD COMPLETE

「MD COMPLETE」の表示が出て、6 曲目が消去されます。

イレースを中止するには  
キャンセルボタンを押す。



全曲を消す (オールイレース)

## 1 停止ボタンを押して、ディスク名表示が総曲数表示で停止させる。

(リモコンのディスプレイボタン [P.22] で切り換えます。)

## 2 ~ 5 は 1 曲イレースと同じ操作です。

ただし、全曲イレースの場合は、  
手順 3 で「ALL ERASE」を選びます。

MD ALL ERASE

手順 4 で

MD ALL ERASE ?

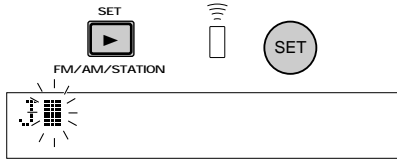
と聞いてきます。



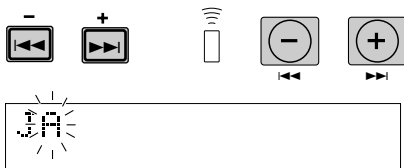
## MD 編集機能の使いかた

### 8 セットボタンを押す。

(2文字目に移動します)

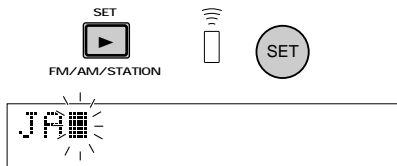


### 9 +、- ボタンで「A」を選ぶ。

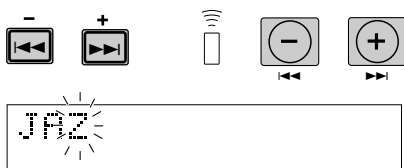


### 10 セットボタンを押す。

(3文字目に移動します。)

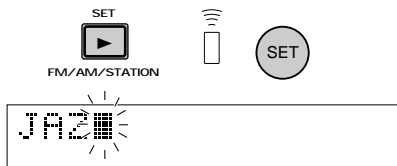


### 11 +、- ボタンで「Z」を選ぶ。

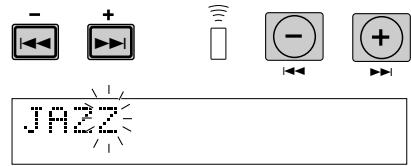


### 12 セットボタンを押す。

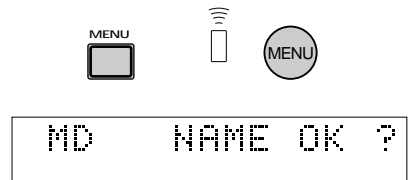
(4文字目に移動します。)



### 13 +、- ボタンで「Z」を選ぶ。



### 14 メニューボタンを押す。



### 15 セットボタンを押す



操作を途中でやめたいときは  
キャンセルボタンを押す。



#### 注意!!

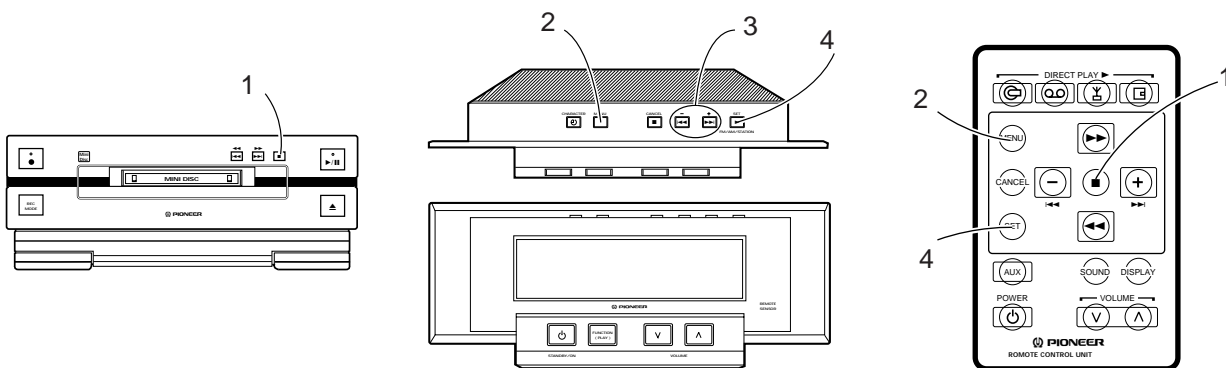
- 録音中にトラックネームを入力していて、ネームの入力が完了する前に次の曲になってしまったときは、そのときまで入力した文字は有効です。録音が終わってからつぎを入力してください。
- 再生中にトラックネームを入力中は、ネームの入力が完了する前にその曲が終了してもくり返して演奏します。

# MD 編集機能の使いかた

本体

表示ユニット

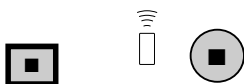
リモコン



## ディスクに名前をつける(ネーム機能)

ディスクに名前をつける (ディスクネーム)

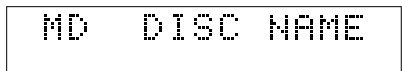
**1** 停止ボタンを押し、総曲数表示で停止する。



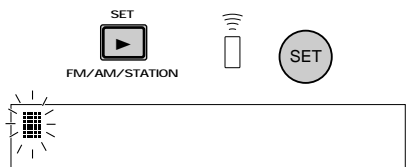
**2** メニューボタンを押し。



**3** +、- ボタンで「DISC NAME」を選ぶ。



**4** セットボタンを押し。



**5** 以降は **トラックネーム** [P.29](#) [P.30](#) の手順 **5** ~ **15** と同じように操作して名前をつけてください。

ネーム機能で入力できる文字の種類

- アルファベット (大文字):  
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ, ./ (空白)
- アルファベット (小文字):  
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz, ./ (空白)
- 数字、記号:  
0123456789! "#\$%&' () \* +, - . / : ; <=> ? @ \_ (空白)
- カタカナ:  
アイウエオカクケコサシスセソタチツテトナニヌネノ  
ハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワ  
ンアイウエオヤユヨッ` ° - / (空白)


- 1つの名前は200文字まで入力できます。
- MDに入れることのできる、最大254曲まで名前を付けることができますが、入れられる総文字数は1,792文字のため、それをこえると入力できません。
- カタカナを使うと入れられる総文字数が減ります。

- 入れた文字を消したいときは、キャンセル、セットボタンで消去する文字の位置を決めてスペース(空白)を選びます。スペースは文字の種類の一文字目にあります。(アルファベットのときは/の次です)
- 途中で文字の種類を変えたいときはキャラクターボタンで変えてください。

応用操作

# 故障？ちょっと調べてください

- 故障かな・・・？と思ったら、ちょっとチェックしてみてください。下の項目をチェックしても直らないときは、お近くのバイオアサービスステーションまたはお買い上げの販売店にご連絡ください。

症状	原因と思われること	処置
音がでない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源プラグがはずれている。</li> <li>● すべてのコードが完全に接続されていない。</li> <li>● CD レシーバーの入力切換が正しく選択されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源プラグを正しく接続する。</li> <li>● 接続のしかたを参照して、正しく接続する。</li> <li>● 聞きたい機器を選択する。</li> </ul>
録音ができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MD が誤消去防止状態になっている。</li> <li>● 再生専用 MD を入れている。</li> <li>● TOC がいっぱいになっている。(録音、編集を繰り返すと、このようになることがあります。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 誤消去防止つまみを閉じる。</li> <li>● MD を入れかえる。</li> <li>● 全曲消去を行えば新たに録音できます。</li> </ul>
モノラルで録音されてしまう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● モノラル長時間モードになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 録音モードをステレオモードにする </li> </ul>
MD を入れても“NO DISC”と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスクにキズが付いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MD を入れかえる。</li> </ul>
音がとぎれる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MD レコーダーが結露している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1 時間程待ってから再生する。</li> </ul>
短い曲を消しても録音の残り時間が増えない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 12 秒以下の短い曲は曲として数えないことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 故障ではありません。</li> </ul>
録音時間と残り時間をたしても最大録音可能時間にならない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 最小録音単位が 2 秒のため、これに満たない曲でも 2 秒のスペースを使っているため合わないことがある。</li> <li>● ディスクにキズがあり、録音不可の部分がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 故障ではありません。</li> <li>● MD を入れかえる。</li> </ul>
曲と曲をつなげない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 録音、編集くり返したディスクでこのようになることがある。</li> <li>● デジタル録音とアナログ録音の曲をつなごうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 故障ではありません。</li> <li>● デジタルと、アナログはつなげません。</li> </ul>

表示については  にも説明がありますので、ご覧ください。

- テレビを近くに設置した場合に、映像の乱れが生じることがあります。テレビで室内アンテナをご使用の場合に起こりやすく、このようなときは屋外アンテナを使用するかテレビを離して設置してください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。



# 日ごろのお手入れ

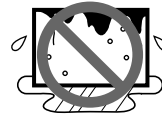
## 製品のお手入れについて



通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。

アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

## 結露について



本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。

このような場合には1時間ほど放置するか徐々に室温を上げてから使用してください。

# 仕様

- 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

記録方式	磁界変調オーバーライト方式
再生方式	非接触光学式
サンプリング周波数	44.1KHz、32KHz、48KHz
周波数特性	20Hz～20KHz
SN比	98 dB
ワウフラッター	測定限界以下
電源電圧	AC100V、50/60Hz
消費電力（電気用品取締法）	11W
外形寸法	220（幅）× 85（高さ）× 310（奥行）mm
質量	2.7kg

## 付属品

保証書	1
取扱説明書（本書）	1
安全上のご注意	1
ご相談窓口・修理窓口のご案内	1
光ファイバーケーブル	1
電源コード	1

# アフターサービス

保証書（別に添付してあります。）

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

- 保証期間はご購入日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談は

お買上げの販売店または、最寄りの当社サービスステーションをご利用ください。所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるとき

もう一度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえなお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから修理を依頼してください。

- 保証期間中の修理

万一、故障が生じたときは保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。お近くのパイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご連絡ください。保証書の規定にしたがって、修理いたします。

連絡していただきたい内容

- ご住所、お名前、電話番号
- 製品名、型番、ご購入日
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

- 保証期間が過ぎているときの修理

最寄りのパイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

## 著作権について

- 放送やレコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、及び営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

社団法人 日本音楽著作権協会（JASRAC・音権協）

本部	TEL 03(3502)6551	(大代表)
北海道支部	TEL 011(221)5088	(代表)
盛岡支部	TEL 0196(52)3201	(代表)
仙台支部	TEL 022(264)2266	(代表)
長野支部	TEL 026(225)7111	(代表)

大宮支部	TEL 048(643)5461	(代表)
上野支部	TEL 03(3832)1033	(代表)
東京支部	TEL 03(3562)4455	(代表)
西東京支部	TEL 03(3232)8301	(代表)
東京イ`ト`		
コンサート支部	TEL 03(5286)1671	(代表)
立川支部	TEL 0425(29)1500	(代表)
横浜支部	TEL 045(662)6551	(代表)
静岡支部	TEL 054(254)2621	(代表)
中部支部	TEL 052(586)7590	(代表)
北陸支部	TEL 0762(21)3602	(代表)
京都支部	TEL 075(251)0134	(代表)
大阪支部	TEL 06(244)0351	(代表)
大阪北支部	TEL 06(244)7077	(代表)
神戸支部	TEL 078(322)0561	(代表)
中国支部	TEL 082(249)6362	(代表)
四国支部	TEL 0878(21)9191	(代表)
九州支部	TEL 092(441)2285	(代表)
鹿児島支部	TEL 099(224)6211	(代表)
那覇支部	TEL 098(863)1228	(代表)

(1997年7月現在)

# さくいん

## あ

アナログ録音 .....	17
一曲シンクロ録音 .....	11
オートマーク機能 .....	7
オールイレース機能 .....	28

## か

曲番号 .....	7
結露現象 .....	33
コンバイン機能 .....	25
誤消去防止ツマミ .....	3

## さ

再生専用 MD .....	3
シンクロ録音 (CD MD) .....	11
シンクロ録音 (TAPE MD) .....	12
スロットインオートプレイ .....	6

## た

ダイレクトパワーオン .....	6
ディスクネーム機能 .....	31
デジタルコピーについて .....	7
デバインド機能 .....	24
トラックイレース機能 .....	28
トラックネーム機能 .....	29, 30

## は

光ファイバーケーブル .....	3
表示切換 .....	22
プログラム演奏 .....	20
プログラムムーブ機能 .....	27

## ま

マニュアル録音 .....	10
ムーブ機能 .....	26
モノラル録音 .....	15

## ら

ランダム演奏 .....	19
リピート演奏 .....	18
録音レベル .....	8

お客様ご相談窓口（修理に関しては別添「ご相談窓口・修理窓口のご案内」参照）

お客様相談センタ - TEL 03・3491・8181

技術相談窓口 ○札幌 TEL 011・644・4779 ○大阪 TEL 06・353・3705  
○仙台 TEL 022・375・4417 ○広島 TEL 082・228・2239  
○名古屋 TEL 052・532・1141 ○福岡 TEL 092・441・8076

愛情点検



長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- ・電源コードにさけめやひび割れがある。
- ・電気が入ったり切れたりする。
- ・本体から異常な音、熱、臭いがする。



すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または当社サービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。